2．金融商品の時価等に関する事項

期末日における貸借対照表計上額、時価及びこれらの差額については、次のとおりであります。

（単位：千円）

	貸借対照表計上額（＊1）	時価（＊1）	差額（＊1）
⑴　現金及び預金	3,467,307	3,467,307	—
⑵　未収附属病院収入	3,068,015		
徴収不能引当金（＊2）	△ 3,689		
	3,064,326	3,467,307	402,981
⑶　国立大学財務経営センター債務負担金	(9,383,067)	(9,821,229)	(438,162)
⑷　長期借入金	(4,580,629)	(4,776,052)	(195,423)
⑸　リース債務	(1,004,859)	(1,029,262)	(24,403)
⑹　未払金	(4,304,676)	(4,304,676)	—

（＊1）　負債に計上されているものについては、（　）で示しております。

（＊2）　未収附属病院収入に個別に計上している徴収不能引当金を控除しております。

（注1）　金融商品の時価の算定方法

⑴現金及び預金、並びに⑵未収附属病院収入

これらは短期間で決済されるため、時価は帳簿価額にほぼ等しいことから、当該帳簿価額によっております。なお、未収附属病院収入のうち貸倒懸念債権については、担保又は保証による回収見込額等により、時価を算定しております。

⑶国立大学財務・経営センター債務負担金、⑷長期借入金及び⑸リース債務

これらの時価については、元利金の合計額を新規に同様の借入又は、リース取引を行った場合に想定される利率で割り引いて算定する方法により算定しております。

⑹未払金

短期間で決済されるため、時価は帳簿価額にほぼ等しいことから、当該帳簿価額によっております。

Ⅸ．賃貸等不動産関係

当法人は、賃貸等不動産を保有しておりますが、賃貸等不動産の総額に重要性が乏しいため、注記を省略しております。

Ⅹ．重要な後発事象

該当事項はありません。

附　属　明　細　書

⑴　固定資産の取得及び処分、減価償却費（「第84　特定の償却資産の減価に係る会計処理」及び「第89　資産除去債務に係る会計処理」による損益外減価償却相当額も含む。）並びに減損損失の明細

（単位：千円）

資産の種類		期首残高	当期増加額	当期減少額	期末残高	減価償却累計額		減損損失累計額			差引当期末残高	摘要
							当期償却額		当期損益内	当期損益外		
有形固定資産（特定償却資産）	建物	6,759,017	713,435	2,664	7,469,788	3,884,391	384,748	38,587	—	—	3,546,810	
	構築物	233,795	—	—	233,795	153,901	5,822	—	—	—	79,893	
	工具器具備品	208,335	20,216	—	228,552	117,721	36,008	—	—	—	110,831	
	計	7,201,147	733,651	2,664	7,932,134	4,156,014	426,578	38,587	—	—	3,737,534	
有形固定資産（特定償却資産以外）	建物	13,708,254	672,215	9,232	14,371,237	7,705,891	856,918	31,670	—	—	6,633,676	
	構築物	225,884	—	—	225,884	96,507	16,798	—	—	—	129,377	
	工具器具備品	15,303,243	1,336,262	538,033	16,101,472	11,157,785	1,721,391	—	—	—	4,943,687	
	図書	1,949,470	29,815	21,030	1,958,255	—	—	—	—	—	1,958,255	
	車両運搬具	21,036	—	—	21,036	21,036	—	—	—	—	—	
	計	31,207,886	2,038,293	568,295	32,677,884	18,981,219	2,595,108	31,670	—	—	13,664,995	
非償却資産	土地	4,658,800	—	—	4,658,800	—	—	—	—	—	4,658,800	
	建設仮勘定	10,820	452,002	407,392	55,430	—	—	—	—	—	55,430	
	美術品・収蔵品	21,111	—	—	21,111	—	—	—	—	—	21,111	
	計	4,690,732	452,002	407,392	4,735,342	—	—	—	—	—	4,735,342	